

「西宮市域における県立西宮病院と西宮市立中央病院の現状と課題に係る意見交換会」の取りまとめ報告（概要）（平成 27 年 6 月 10 日公表）

兵庫県（病院局企画課）、西宮市（中央病院病院改革担当部）

今般、「西宮市域における県立西宮病院と西宮市立中央病院の現状と課題に係る意見交換会」の結果を取りまとめた。

（1）課題整理のポイント

①西宮市市域の医療課題

ア 将来人口の推移

➤75 歳以上の後期高齢者数の推移は、2030 年以降も増加の見込み（全国は、2030 年以降高止まりする）

イ 医療の現況と将来推計

➤死因別では、がん及び急性心筋梗塞などによる死亡が、男女とも全国平均を超過

➤20 年後（2035 年）の入院医療需要（1 日あたり推計入院患者数）は、33.6%（1,498 人/日）増加（2013 年（4,454 人/日）比）。増加数の大半が 75 歳以上。

➤がん、循環器系疾患等の急性期入院患者数は増加傾向

➤20 年後（2035 年）の救急搬送件数は、36%（6,340 件）増加。うち重傷の外傷系、循環器系の順に多い。

ウ 疾病等（主なもの）

区分	内 容
が ん	緩和ケア診療体制の充実
心 疾 患	重傷救急患者への対応
精 神 疾 患	身体合併症者の診療体制確保
救 急 医 療	2 次・3 次救急体制の充実
災 害 医 療	災害時の患者搬送ヘリポート設置病院がない
小児医療（小児救急含む）	小児 2 次救急輪番体制の充実

②両病院の課題（主なもの）

区分	県立西宮病院	市立中央病院
診療機能	心臓血管外科が未設置	医師不足のため急性期・総合型病院として必要な診療機能の一部が不足
経 営 (H25 実績)	— (病床利用率 81.2%) (純損益は黒字 (530 百万円)) (給与費比率 61.7%)	病床利用率 (67.6%) の改善 純損益が赤字 (△486 百万円) 給与費比率の改善 (73.2%)
施設・設備	診療機能等の充実に必要な拡張余地なし (本館等今後 20 年程度使用可)	施設の老朽化対策と耐震化が喫緊の課題 (築 40 年経過)、医療機器の更新 (耐用年数超過)
将来計画	— (第 3 次行革プランにおいて建替整備の将来計画なし)	統合を視野に入れた取組みを進める (第 4 次西宮市総合計画)、建物の耐震化等を行う (経営改革プラン)

（2）今後の対応

兵庫県と西宮市との間で共有化した課題の解決に向け、両病院の役割分担・連携の推進、再編など、様々な取組の可能性を検討していく。